

2011年3月期 第1四半期(累計期間)決算説明資料

1 連結業績について

1) 連結業績概要	… P. 3
2) 売上高の変動要因	… P. 4
3) 営業利益の変動要因	… P. 5
4) セグメント別売上高・営業利益	… P. 6
5) 計画比	… P. 12
6) 地域別売上高	… P. 13
7) 設備投資他	… P. 14
8) 損益計算書	… P. 15

2 2011年3月期 業績予想

1) 2011年3月期 業績予想	… P. 16
2) セグメント別売上高	… P. 17

3 その他の情報

1) 設備投資について	… P. 18
-------------	---------



当資料に記載されている将来の見通しなどについては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。












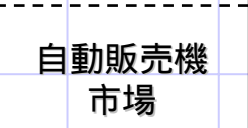
当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、商品需給、新技術の進展などにより、今後において業績見通しの変動するなどのリスクや不確実性を含んでおります。

従いまして、投資判断を決定する場合には、本資料の将来の見通しのみには依拠することは、お控えくださるようお願い申し上げます。

また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。

市場別表示の変更

「自動販売機市場」を「その他」の中に移行
 「その他の市場」の一部納入先、並びに「自動販売機市場」の一部製品を適切な市場に移行
 納入先の表記を整理

～ 2009年度			2010年度～	
市場	納入先	主な商品及び製品	市場	納入先
 金融市場	金融機関、 生保・損保会社、証券会社、 コンピューターメーカー他	オープン出納システム 窓口用現金入出金機他	 金融市場	国内の金融機関、 日本郵政、OEM先等
 流通・交通市場	百貨店、スーパーマーケット、 専門店、警備保障会社、 鉄道会社他	硬貨・紙幣レジつり銭機 売上金入金機他	 流通・交通市場	国内のスーパーマーケット、 百貨店、警備輸送会社、 鉄道会社等
 遊技市場	パチンコホール他	プリペイドカードシステム 景品払出機 紙幣搬送システム他	 遊技市場	国内の遊技場 (パチンコホール等)
 海外市場	海外の金融機関、 警備輸送会社、カジノ、 コンピューターメーカー他	窓口用紙幣入出金機 紙幣整理機 ATM用ユニット他	 海外市場	海外の金融機関、 警備輸送会社、カジノ、 OEM先等
 その他の市場	官公庁、病院、レジター施設、 一般企業 消費者金融 他	投票用紙分類機 病院向け診療費支払機 社員食堂システム他	 その他	病院、自治体、企業等
 自動販売機市場	国内外たばこメーカー、 たばこ小売店、 鉄道会社他	たばこ販売機 券売機 コインロッカー 他	 自動販売機市場	国内のたばこ販売店、 たばこメーカー等

連結業績概要 前年同期比

売上高

遊技市場向け機器の販売は低調であったものの、海外市場、金融市場、流通・交通市場での販売は好調で、前年同期に比べ増加。

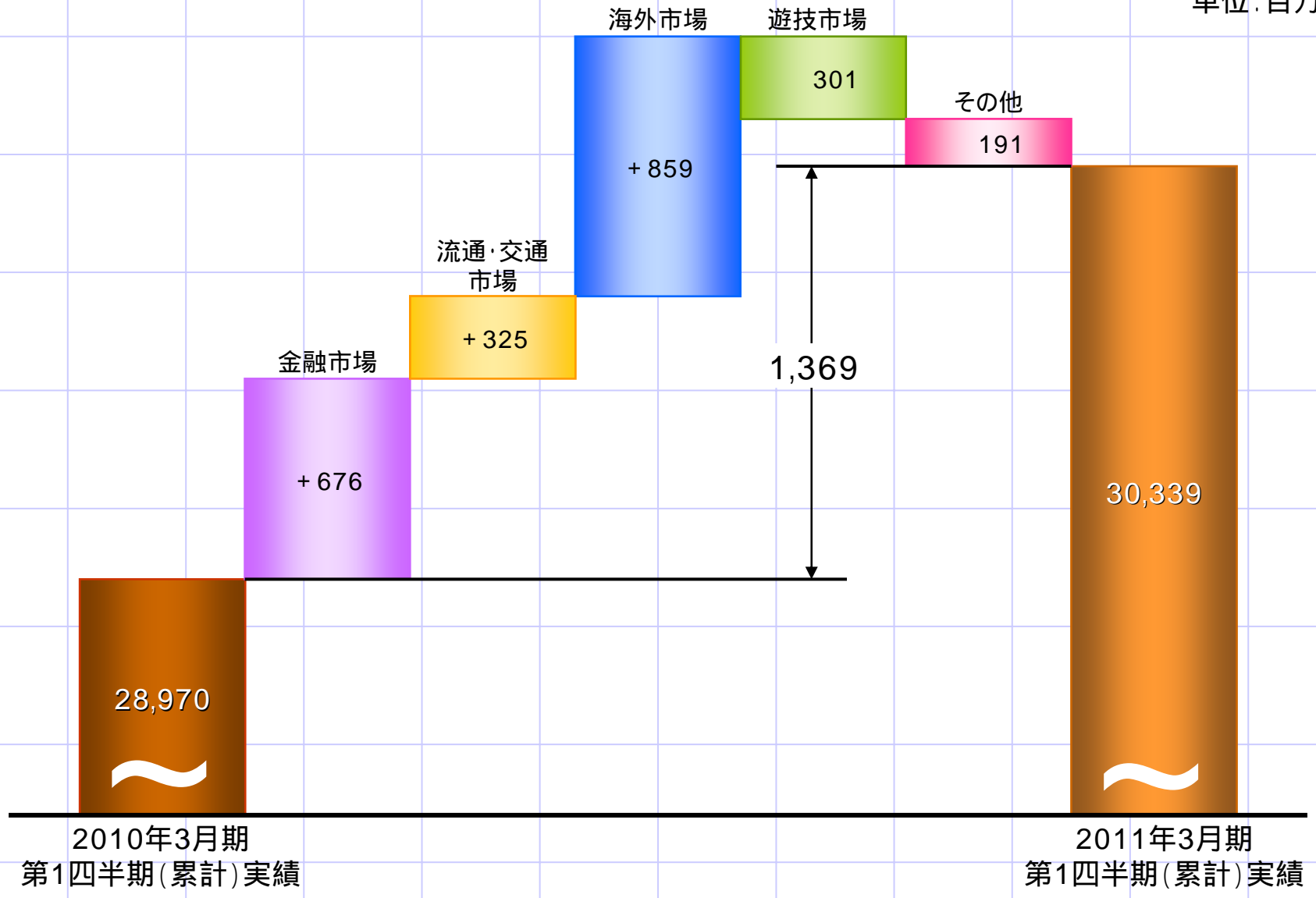
利益

営業利益は売上高の増加や海外生産・海外調達の拡大等コストダウン策の推進により、前年同期に比べ増加。経常利益、四半期純利益は減少。

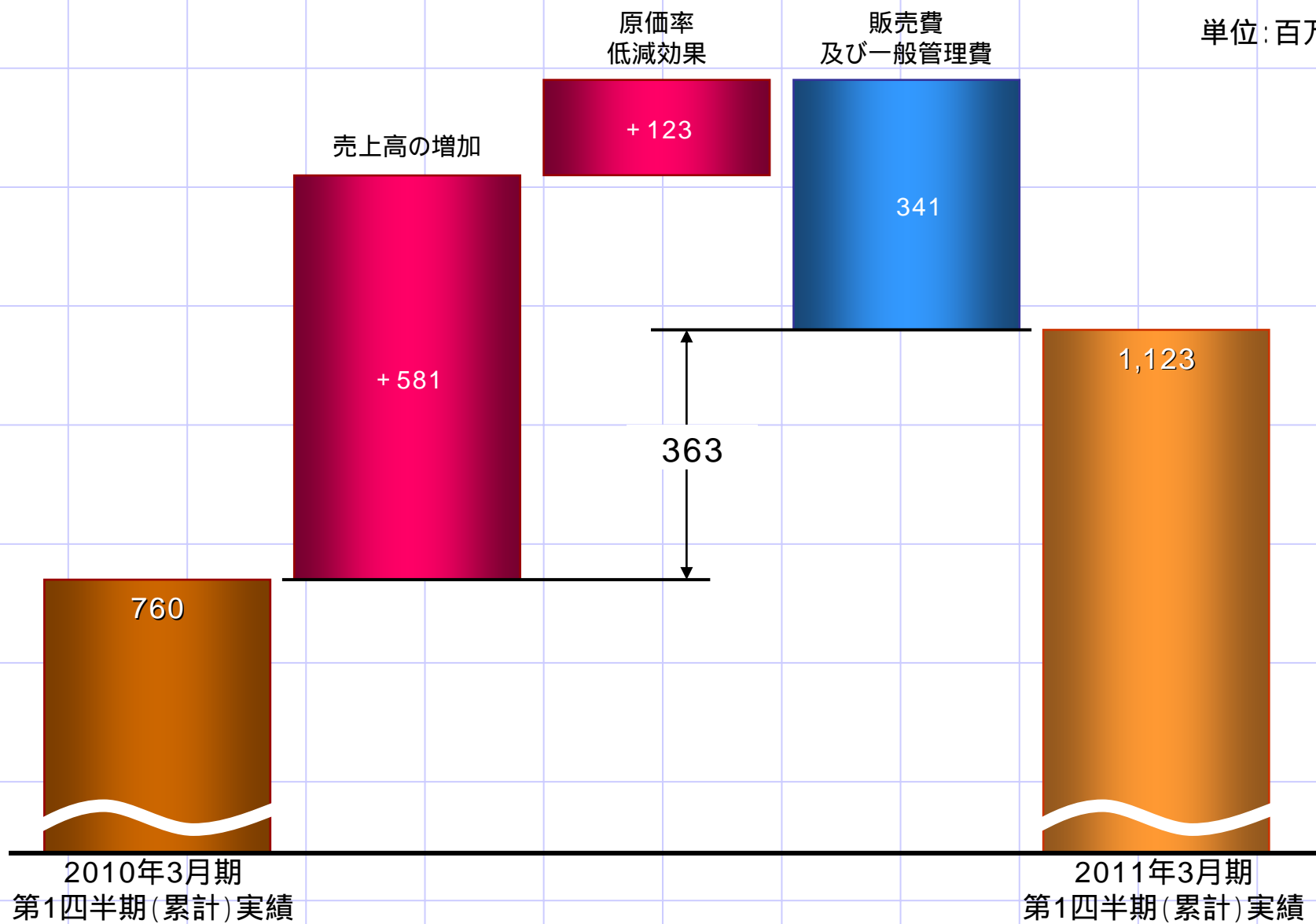
(百万円)	2010年3月期 第1四半期	2011年3月期 第1四半期	前年同期比
売上高	28,970	30,339	+4.7%
うち 保守売上高	7,857 (27.1%)	7,879 (26.0%)	+0.3%
営業利益	760 (2.6%)	1,123 (3.7%)	+47.8%
経常利益	1,584 (5.5%)	1,160 (3.8%)	26.8%
四半期純利益	712 (2.5%)	456 (1.5%)	36.0%

売上高の変動要因

単位:百万円



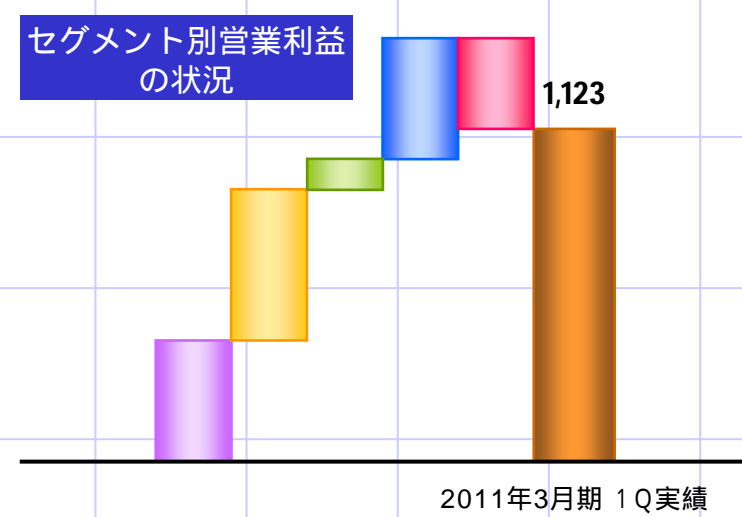
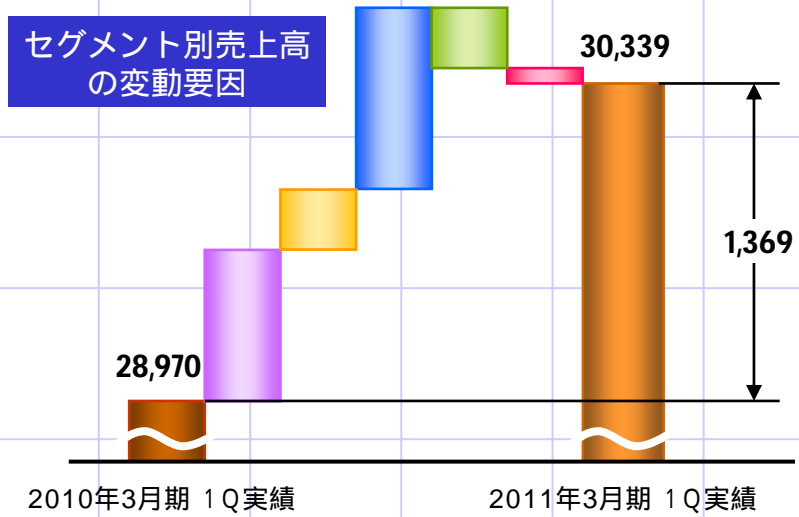
営業利益の変動要因



セグメント別売上高・営業利益

(百万円)

セグメント	2010年3月期 第1四半期	2011年3月期 第1四半期	
	売上高	前年同期比	営業利益
金融市場	7,958	8,634 (+676(+8.5%))	417
流通・交通市場	5,680	6,005 (+325(+5.7%))	486
遊技市場	6,448	6,147 (301(-4.7%))	102
海外市場	6,376	7,235 (+859(+13.5%))	393
その他	2,508	2,317 (191(-7.6%))	276
自動販売機市場	1,706	1,097 (609(-35.7%))	294
合計	28,970	30,339 (+1,369(+4.7%))	1,123



主要商品の販売が堅調

主要製品であるオープン出納システムの販売が堅調に推移したことに加え、OEM商品である窓口用入出金システムのユニットも更新需要による販売が順調に推移。

主要製品の状況(前年同期比)

<p>オープン出納システム WAVEシリーズ</p>	<p>窓口用入出金 システムのユニット</p>
<p>オープン出納システム WAVE Cシリーズ</p>	<p>自動精査現金バス BWシリーズ</p>

矢印の傾きは売上高前年同期比の増減状況を表示

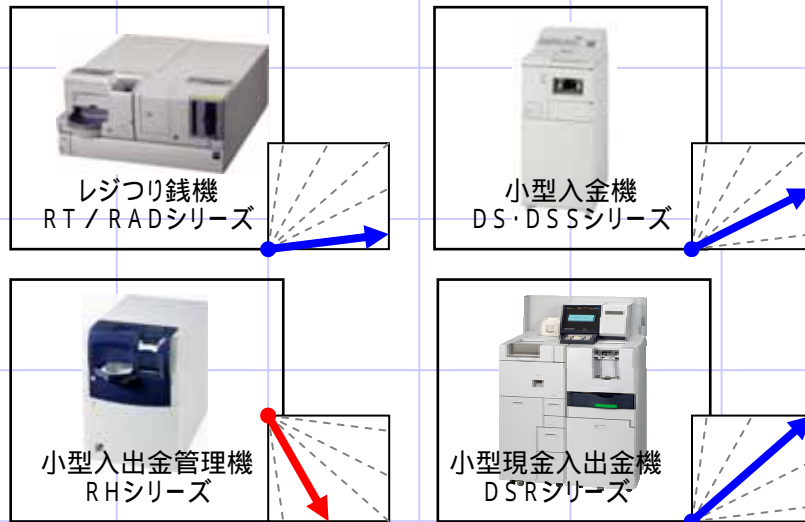
(単位:百万円)

売上高	8,634	
前年同期比	+676 (+8.5%)	
構成比率	28.5% (+1.0%)	
四半期推移		
営業利益	417	(2011/3)
構成比率	37.1%	

主要製品の販売が堅調

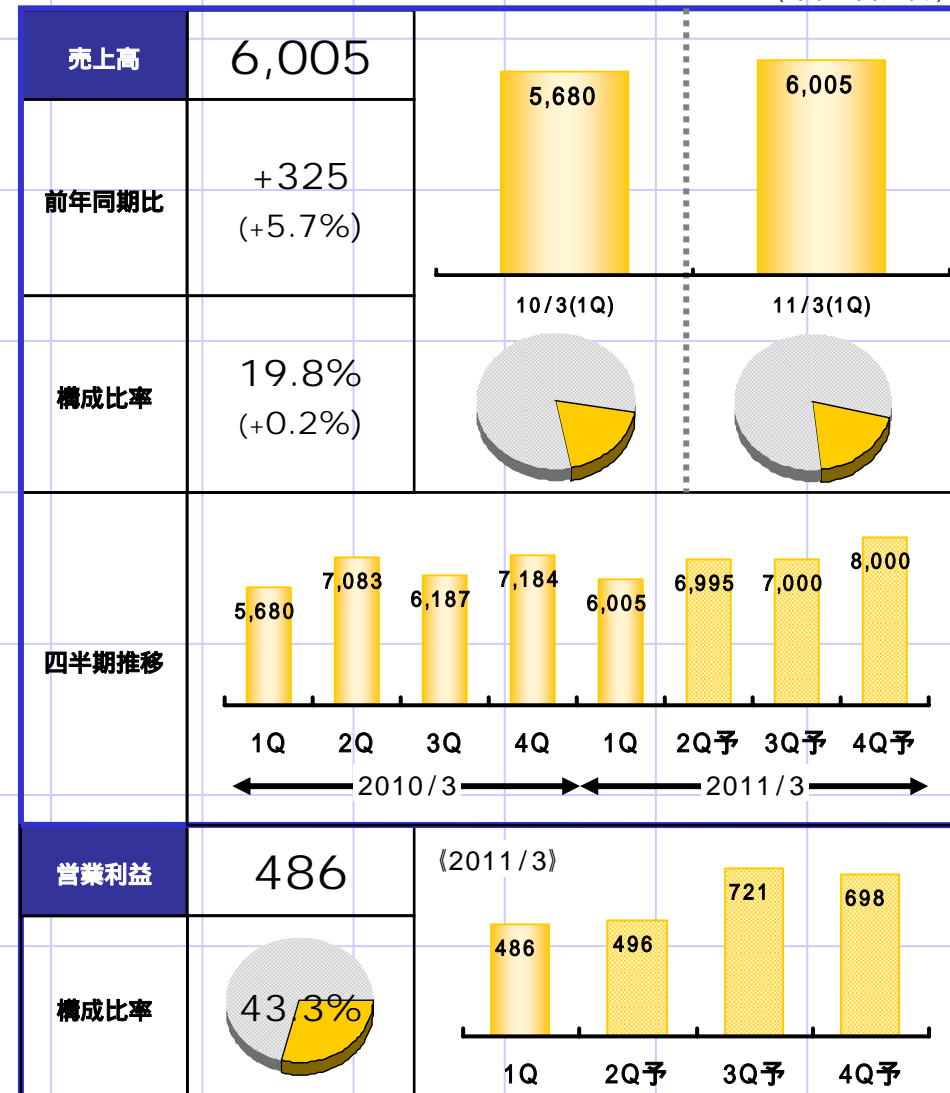
主要製品であるレジつり銭機の販売は好調であり、
加えて一般店舗向け売上入金機の更新需要が
活性化。

主要製品の状況(前年同期比)



矢印の傾きは売上高前年同期比の増減状況を表示

(単位:百万円)



カードシステムの販売が低調

新製品である各台計数機の販売は堅調であったものの、カードシステム等に対する設備投資の抑制傾向により、販売は低調に推移。

主要製品の状況(前年同期比)

<p>各台計数ユニット JCTシリーズ</p>	<p>台間高額メダル貸機 JMMシリーズ</p>
<p>景品管理機 JKシリーズ</p>	<p>紙幣搬送システム</p>

矢印の傾きは売上高前年同期比の増減状況を表示

売上高	6,147		
前年同期比	301 (4.7%)		
構成比率	20.3% (2.0%)		
四半期推移			
営業利益	102		
構成比率	9.1%		

中国市場での販売が堅調

OEM商品であるATM用紙幣入金ユニットの販売が好調に推移し、また、中国における販売網の拡充等により紙幣整理機の販売が拡大。

主要製品の状況(前年同期比)

<p>ATM用紙幣入金ユニット UDシリーズ</p>	<p>紙幣入出金機 RZシリーズ</p>
<p>紙幣整理機 UW・USFシリーズ</p>	<p>小型紙幣入金機 GFSシリーズ</p>

矢印の傾きは売上高前年同期比の増減状況を表示

(単位:百万円)

売上高	7,235		
前年同期比	+895 (+13.5%)		
構成比率	23.8% (+1.8%)		
四半期推移			
営業利益	393		
構成比率	35.0%		

連結業績について その他

たばこ自動販売機の販売が低調

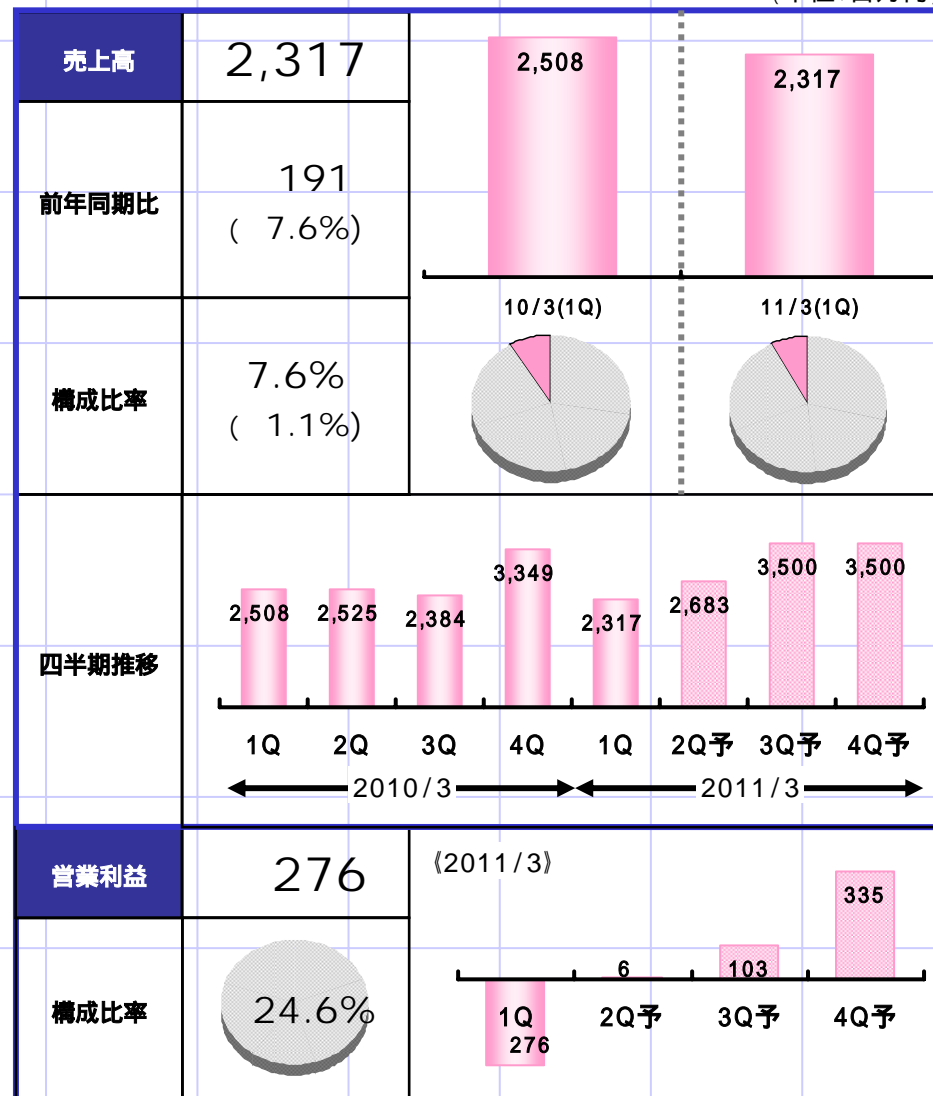
OEM製品である公営競馬場向け当選金払出ユニットの販売が好調であったものの、たばこ販売機の販売が低調。

主要製品の状況(前年同期比)

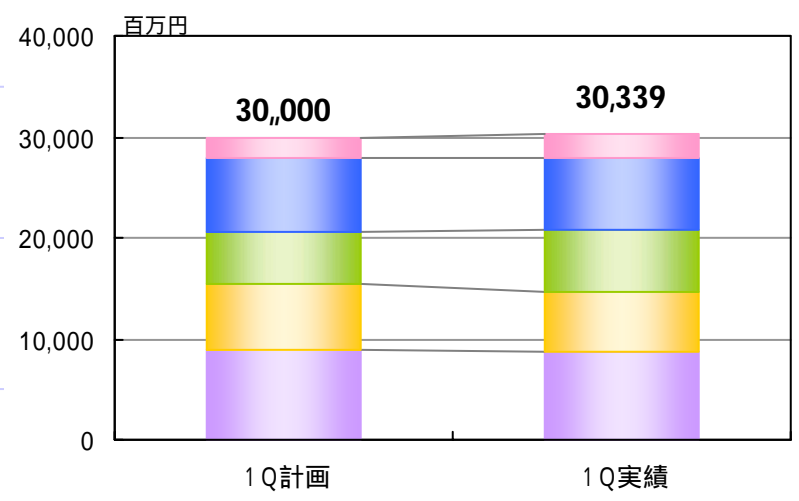


矢印の傾きは売上高前年同期比の増減状況を表示

(単位:百万円)



計画比 (セグメント別売上高・営業利益)



セグメント別売上高
(計画対比)

セグメント	2011年3月期 第1四半期			
	売上高 計画	売上高 実績	差異	営業利益
金融市場	9,000	8,634	366 (- 4.1%)	417
流通・交通市場	6,500	6,005	495 (- 7.6%)	486
遊技市場	5,000	6,147	+1,147 (+22.9%)	102
海外市場	7,500	7,235	265 (- 3.5%)	393
その他	2,000	2,317	+317 (+16.9%)	276
自動販売機市場	1,000	1,097	+97 (+9.7%)	294
合計	30,000	30,339	+339 (+ 1.1%)	1,123

地域別売上高

(単位:百万円)

海外 地域別売上高	2010年3月期 第1四半期	2011年3月期 第1四半期	前年同期比
米州	1,919 30.1%	1,256 17.4%	663 34.5%
内 OEM	827 13.0%	155 2.1%	672 81.3%
欧州	3,532 55.4%	4,395 60.7%	+863 +24.4%
内 OEM	1,222 19.2%	2,712 37.5%	+1,490 +121.9%
アジア	925 14.5%	1,583 21.9%	+658 +71.1%
内 中国	239 3.7%	769 10.6%	+530 +221.8%
内 OEM	293 4.6%	161 2.2%	132 45.1%
合計	6,376 100.0%	7,235 100.0%	+859 +15.5%
内 OEM	2,342 36.7%	3,028 41.9%	+686 +29.3%

下段は売上高構成比率

設備投資他

(単位:百万円)

	2010年3月期 第1四半期	2011年3月期 第1四半期	前年同期比	四半期毎の推移
設備投資額	1,703	1,688	15 0.9%	<p>1,703 1,577 989 2,444 1,688 1,612 1,600 1,600</p> <p>1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q予 3Q予 4Q予</p> <p>← 2010/3 → ← 2011/3 →</p>
減価償却費	1,829	1,598	231 12.6%	<p>1,829 2,022 2,088 2,205 1,598 1,902 2,250 2,250</p> <p>1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q予 3Q予 4Q予</p> <p>← 2010/3 → ← 2011/3 →</p>
研究開発投資額	2,032	1,901	131 6.4%	<p>2,032 2,278 2,006 2,459 1,901 2,599 2,250 2,250</p> <p>1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q予 3Q予 4Q予</p> <p>← 2010/3 → ← 2011/3 →</p>

損益計算書

(単位:百万円)

(百万円)	2010年3月期 第1四半期	百分比 (%)	2011年3月期 第1四半期	百分比 (%)	増 減
売上高	28,970	100.0	30,339	100.0	+1,369
売上原価	18,639	64.3	19,304	63.9	+665
販管費	9,570	33.0	9,911	32.6	+341
営業利益	760	2.6	1,123	3.7	+363
営業外収益	896	3.1	514	1.7	382
営業外費用	72	0.2	477	1.6	+405
経常利益	1,584	5.5	1,160	3.8	424
特別利益	32	0.1	138	0.5	+106
特別損失	186	0.6	353	1.2	+167
税金等調整前 四半期純利益	1,431	4.9	944	3.1	487
法人税等調整額	718	2.5	129	0.4	589
四半期純利益	712	2.5	456	1.5	256

売上原価率：コスト削減活動の成果等により0.4ポイント低減。

営業外損益：為替差損(405百万円)などが発生。(前年同期は営業外収益に保険返戻金(406百万円)を計上)

特別損失：退職給付費用(257百万円)などが発生

(旧播磨G、旧Gテックの簡便法(一時金)を原則法(一時金)に移行することに伴う影響額)

2011年3月期 業績予想

通期

売上高 新製品による市場の深掘りが進み、前年同期から増加。**利益** 売上高拡大とコストダウン策の推進効果により、前年同期に比べ増加。

(百万円)	第1四半期 実績	第2四半期 累計期間 予想	通期 予想
売上高	30,339	65,000	145,000
うち 保守売上高	7,879 (26.0%)	16,000 (24.2%)	32,000 (22.1%)
営業利益	1,123 (3.7%)	3,000 (4.6%)	10,000 (6.9%)
経常利益	1,160 (3.8%)	3,000 (5.8%)	10,000 (6.9%)
当期(四半期) 純利益	456 (1.5%)	2,000 (3.5%)	6,000 (4.1%)

為替レート【第1四半期】ドル85円 ユーロ130円 【第2四半期】ドル85円 ユーロ110円

セグメント別売上高

(百万円)	2011年3月期(平成23年3月期)					
	第1四半期 実績		第2四半期累計期間 予想		通期 予想	
金融市場	8,637	28.5%	20,000	30.8%	47,000	32.4%
流通・交通市場	6,004	19.8%	13,000	20.0%	28,000	19.3%
遊技市場	6,138	20.2%	12,000	18.5%	26,000	17.9%
海外市場	7,235	23.8%	15,000	23.0%	32,000	23.7%
その他	2,322	7.7%	5,000	7.7%	12,000	8.3%
内 自動販売機 市場	1,101	3.6%	2,500	3.8%	6,500	4.5%
合計	30,339	100.0%	65,000	100.0%	145,000	100.0%

右枠は構成比率は売上高構成比率

GLORY (PHILIPPINES), INC. 第2工場建設

海外市場への販売拡大(主にOEM製品)に伴う増産に対応する。
本社製品の受託生産を通じグループとしてのコストダウンに貢献する。

【着工】

2010年8月



【竣工】

2011年3月予定

【竣工後の生産能力】

組立能力 約2倍
(生産スペースを約2倍に増加)

GLORY(PHILIPPINES),INC.

売上高 17億1,600万円
(非連結)

従業員数 409名

2010年3月末時点

完成予想図

